

平成 27 年 9 月 11 日

各 位

東京製鐵株式会社
代表取締役社長 西本利一
(東証 1 部 証券コード 5423)
(問い合わせ先) 取締役総務部長 奈良暢明
TEL 03(3501)7721

岡山工場における連続鋳造設備導入投資についてのお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、現在稼働を休止している岡山工場直流電気炉(「DC 炉」)から中形工場並びに棒鋼工場へ鋼片を供給する連続鋳造設備を新たに導入し、同電気炉を再稼働することを決定いたしましたのでお知らせ申し上げます。

(1) 概要

当社岡山工場は、現在稼働中の AC 炉 (140 t 炉 1978 年稼働 粗鋼生産能力年間 85 万トン) と、休止中の DC 炉 (150 t 炉 1992 年稼働 粗鋼生産能力年間 150 万トン) の電気炉 2 炉を有しております。従前は、DC 炉からは熱延工場に、AC 炉からは中形工場並びに棒鋼工場に、それぞれ鋼片を供給しておりました。今般、DC 炉から中形工場並びに棒鋼工場へ鋼片を供給できる連続鋳造設備を新たに導入し、AC 炉での粗鋼生産を停止して、DC 炉に粗鋼生産を集約することを決定いたしました。生産効率の高い DC 炉に粗鋼生産を集約することにより、生産単位当たりの使用電力量が約 6%削減されることに加え、現在休止している熱延コイルの生産を、経営判断に基づき将来において再開させた場合には、生産量の増加による固定費削減効果等も期待されます。今回の投資を踏まえ、今後とも全社をあげて一層のコストダウンに取り組み、競争力を高めた製品の供給を目指してまいります。

(2) 投資額

投資総額は、約 60 億円の見込みであります。なお、本件につきましては、環境共創イニシアチブによる「平成 27 年度エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」並びに、岡山県による「岡山県拠点工場化等投資促進補助金」を、それぞれ申請しております。補助金が申請どおり採択された場合には、自己資金による投資額が 45 億円程度となる見込みです。

(3) 今後の見通し

DC 炉の再稼働は平成 30 年を予定しております。
なお、本投資が今期の業績に与える影響はありません。

以 上